ポルトアレグレにおけるワールドカップにかかるストライキ情報:報道

１１日付当地ゼロ・オラ紙は、州都のバスストライキの脅威と題し、バス会社の２グループがポルトアレグレにおいて１２日及び１５日にストライキを計画している旨報じている。

１．今年１月・２月に１５日間に渡って街の機能を停止させたストライキの中心的存在であったバス会社が、ワールドカップ開催期間中に抗議運動を再び行うことを決定した。

対立する左翼派の２陣営による先導の下、同計画は再び労働組合の外部で進められた。２陣営とはルイス・アフォンソ・マルチンスにより指揮された陣営と、アルセウ・ウェバーにより指揮された陣営で、両方ともバス会社カヒスである。

２．抗議運動は異なる時期に行う予定である。公共交通機関闘争連合とワールドカップ大衆委員会の運動により近いアフォンソ氏のグループは、大会の開会式が行われる明日に抗議行動を計画している。リーダーのアフォンソ氏は詳細を語る事を避けているが、市内のバスの運行数を減らす、早朝からガレージを封鎖するような抗議行動の可能性も否定できない。アフォンソ氏は「抗議運動を計画はしているが、現段階で何も断言できない」と述べた。

３．同氏のグループは、明日ブラジル全土で一連のストライキと抗議運動の実施を計画しているエスパッソ実行部と関係している。エスパッソ実行部は、公共交通機関闘争連合とワールドカップ人民委員会のほかに、人民中央組合、中央統一労働組合や全国学生連合、土地なし農民運動の指導者のようなワールドカップに反対する様々なグループから構成されている。

４．バス会社の陣営は車両の放置と無料乗車を検討中

アルセウ・ウェバー氏が率いる陣営は、抗議運動に関して話し合うために、今週土曜日に集まる予定である。会合場所は安全上の問題から公表されていないが、昨日までに異なるガレージのバス会社の社員４０名が出席の意志を表明している。その目的はポルトアレグレがワールドカップで最初の試合を行う日曜日に抗議運動を起こす事である。フランスとホンジュラスの試合がベイラヒオスタジアムで行われる。「一時的なストライキ、車両の放置、通常の運行または無料乗車などと言った抗議運動の可能性について議論が交わされた」とウェバー氏は述べた。

６．バス会社の社員の要求リストには、ワールドカップにおける浪費に対する抗議、６時間への労働時間短縮の要求、年始に行われたストライキにより６日分の給料を差し引く許可した裁決に対する反発が挙げられるなど、その要求内容は幅広い。（了）